

農林水産省 食料産業局長賞

株式会社スタイルスグループ(宮城県仙台市(せんだいし)) ～宮城の水産業の復興に向け、漁業者と消費者をつなぐ～

組織概要

- 代表者 代表取締役 佐々木 浩史 ○所在地 宮城県仙台市
○構成等 飲食店7店舗が「食材王国みやぎ地産地消推進店」 ○活動開始年 平成23年



受賞のポイント

- 地元水産業の復興に向けて、漁業者と連携し、産地から飲食店へ直接食材を納品する流通の仕組みを確立させた。また、生産者と連携した取組みを行う中で、地産地消に対する理解を深め、地場農産物の利用を進めている。
- 店舗で「競り」を行うなど特徴的なイベントを開催し、海外メディアへPRするとともに、地場水産物の消費を拡大させるため東京へ出店するなど地産外消にも積極的に取組んでいる。

取組内容

■取組みの経緯・成長の契機

- ◆東日本大震災の際、炊き出しで知り合った漁業者に感銘を受け、宮城の水産業の復興を目指し、「地元のことは地元でやろう」をスローガンに、**産地から飲食店へ直接食材を納品する仕組みを作り**、平成23年に仙台市国分町に**石巻漁港から直送する魚介類を提供し漁業者と生産者の想いを伝える飲食店をオープン**させる。
- ◆生産者と連携した取組みを行う中で、地産地消への理解が深まり、地産地消に関するイベント等に積極的に参加している。

■取組みの特徴・活動の強み

- ◆店のディスプレイ、メニューブック、ホームページやSNSにおいて、取引先の地元生産者を紹介している。また、「かき祭り」や「ホタテ祭り」などのイベント開催や**漁業者による店のスタッフ体験を実施し、「顔が見え、話ができる」交流の場を創出**。
- ◆**店のスタッフへ漁師体験や漁場体験を実施**し、生産・加工技術等を現場で学ばせることで、地域の食材の良さや地産地消への理解を深めている。
- ◆経営する鮮魚居酒屋だけでなく、他業態の店舗でも使用する肉、野菜、卵などを宮城県産に変更し、生産者の紹介の紹介も合わせて行うことで、消費の拡大を図っている。また、東北食のカプロジェクトなど宮城の地産地消を進める団体とも連携し、食に関するイベントを開催。
- ◆漁業者との関係を深めることで、宮城県漁協と連携した**「カキ小屋」を東京にオープン。宮城県の水産物の魅力を地域外へ広める取り組みも実施**。

■地域への貢献・波及効果

- ◆産地から直接食材を納入する仕組みや食材及び生産者の情報の発信などを**地元の飲食店とも共有することで、地場農林水産物の消費に貢献**。
- ◆漁業者による店のスタッフ体験や、店のスタッフの漁師体験等を実施することで、お互いの理解が深まり、消費者に地場水産物の魅力を伝えることがスムーズに行うことができるとともに、**地産地消に取組む人材の育成に繋がっている**。